

募集のご案内

中越市民防災安全大学
 (平成28年度・第11期) 受講生を募集します

期日：平成28年8月 20日(土)
 21日(日)
 27日(土)
 9月 3日(土)
 4日(日)

全5回(20講座)

中越大震災や東日本大震災、先頃発生した平成28年熊本地震など、時と場所を選ばず災害は発生し、市民による「防災」の重要性は増々高まっています。中越市民防災安全大学は、「安全」や「防災」をテーマに、専門的な知識や災害時に役立つノウハウや実技を学び、被災現場を視察できる連続講座として広く市民の方々にご受講いただくことで、防災に関わる人材の裾野を広げ、地域の防災活動や災害時に活躍できる人材、災害や防災の知識・教訓等を語り継げる人材を育成することを目的としています。

11期目を迎える今期の中越市民防災安全大学は、内容を充実させるとともに開催期間を短縮し、より参加しやすい日程としています。これまで494名の卒業生(中越市民防災安全士)が誕生しており、地域防災活動等で活躍しています。また、卒業生を対象としたフォローアップ研修を実施しており、さらに専門性を伸ばすことも可能です。

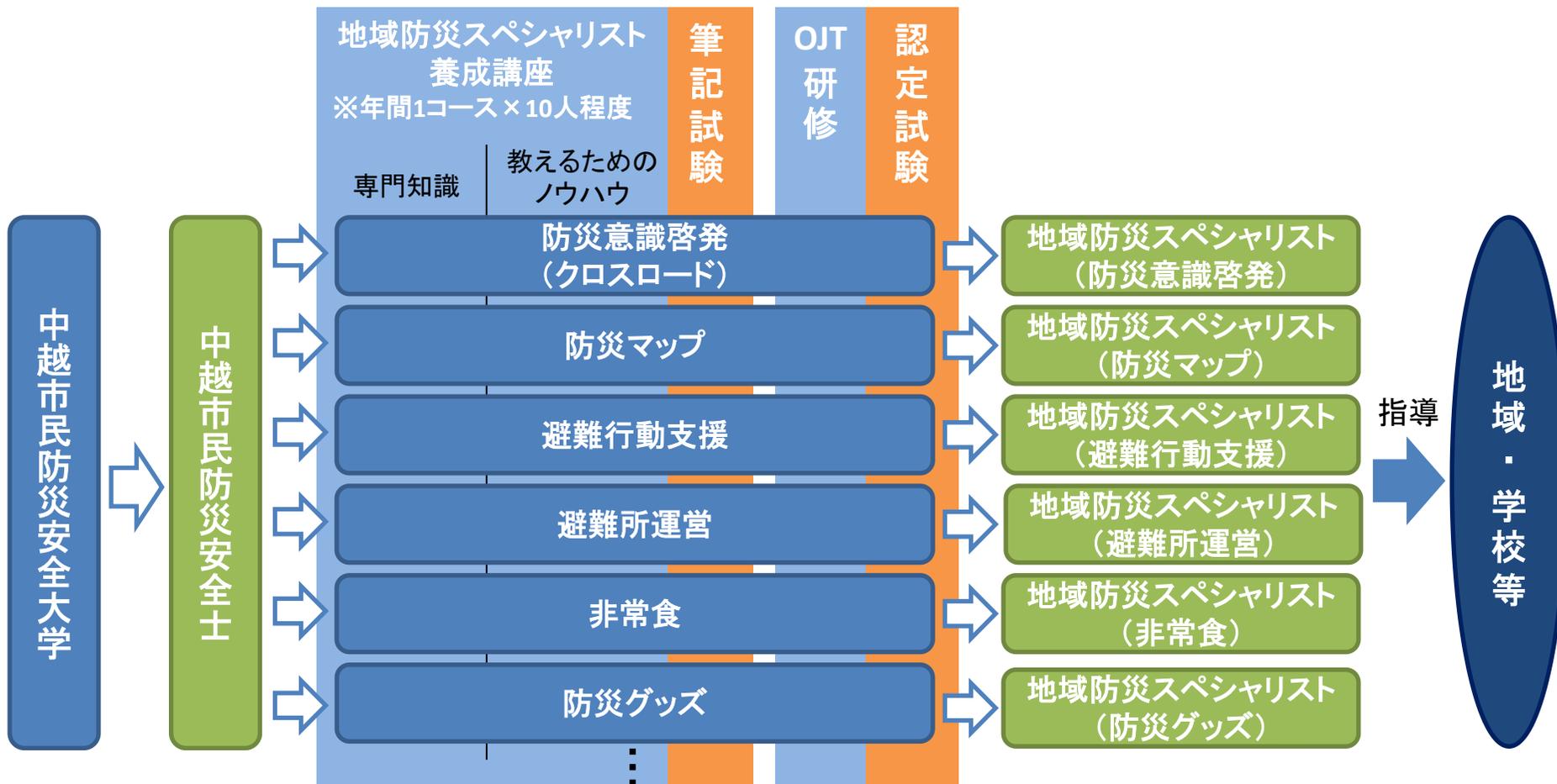
- 平成18年度に開校。10年で494人の安全士を育成
- 卒業生有志により、中越市民防災安全士会を組織
 地域の防災訓練への派遣実績(H27)
 回数：92回 人数：延べ200人
- 今年度から、より多くの市民が気軽に楽しく学べるようにカリキュラムを改善
 受講期間の短縮：13日26講座⇒5日20講座
 講義内容の変更：実技、体験型の講義の充実

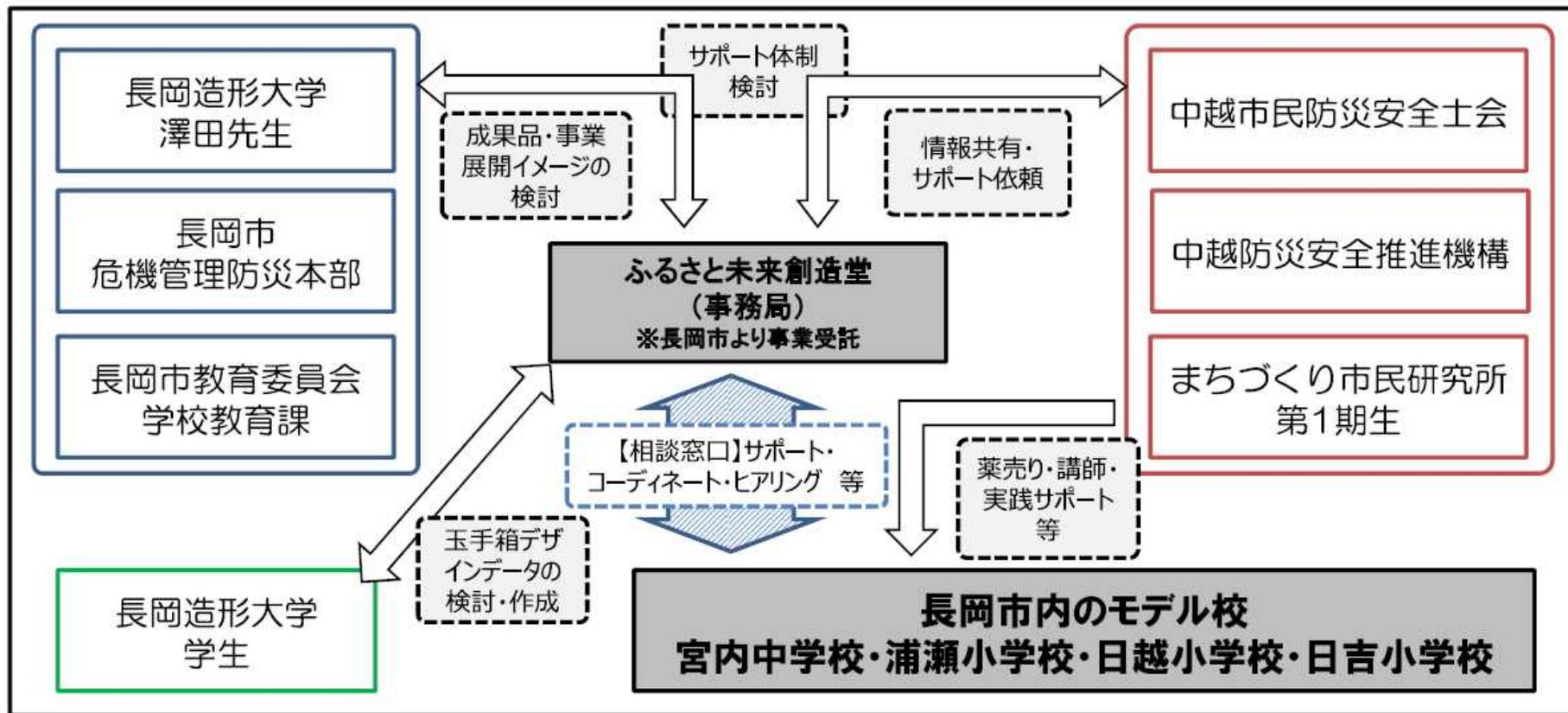
平成28年度の主なカリキュラム

災害時の情報発信 東京大学大学院 情報学環・総合防災情報研究センター 関谷 直也
土砂災害への対策 新潟大学 新潟大学災害・復興科学研究所 卜部 厚志
災害時の避難行動 群馬大学大学院 広域首都圏防災研究センター 金井 昌信
中越大震災を知る 長岡造形大学 澤田 雅浩
避難所運営ワークショップ 減災復興支援機構 宮下 加奈
防災ワークショップ 中越防災安全推進機構
災害食実演 中越市民防災安全士会 石黒 みち子
水害への対策 エコロジーサイエンス 樋口 勲
防災士試験(申し込み希望者のみ)

地域防災スペシャリスト養成 スキーム

平成28年度の新規事業(10月に実施予定)
 地域防災スペシャリストを育成し、地域や学校で防災について指導できる
 人材を増やすことで、長岡市における地域防災力の底上げを図る





平成28年度業務の成果 ※防災教育イベントは除く

防災玉手箱【完成版】の作成
※データのみ

平成29年度以降の持続可能な
サポート体制(案)

防災玉手箱試作版

説明

土砂災害は、急傾斜地の崩壊によって発生する災害。崩壊した土砂が崖から斜面を滑り落ちて、谷間に堆積する。また、谷間に堆積した土砂が、大雨などで再び崩壊する。また、谷間に堆積した土砂が、大雨などで再び崩壊する。また、谷間に堆積した土砂が、大雨などで再び崩壊する。

作り方

写真を参考に、以下の手順に沿って作成して下さい。

土砂崩壊模型

材料等

- 紙 (A4サイズ) 1巻
- 透明ステコロール
- 300mm x 250mm 厚さ 10mm 1巻
- 六角ナット (M3〜4程度のもの) 30個
- 線具 (両及ばね) 1つおよび 3本
- 線紙・油性ペン・静電スタンプカッター

時間 30分程度 / 回

■ 既存の防災教育教材との関連

防災教育プログラム	【土砂災害】 必須-1, 3, 4, 5, 6, 7, 8
自然災害に関する授業	【高学年】 P1 災害を克服するためにあきらめないで 【中学校】 P2 大規模な災害を乗り越える

説明

新聞紙スリッパは、災害時の避難や救助に役立つ。また、災害時の避難や救助に役立つ。また、災害時の避難や救助に役立つ。また、災害時の避難や救助に役立つ。

作り方

新聞紙に以下の手順に沿って折り、避難時のスリッパを作ります。手順はスリッパの型紙に準じます。しっかりと折り、型紙に合わせたサイズに調整して下さい。折り紙を準備する事で、避難時に役立ちます。

新聞紙スリッパ

材料

- 新聞紙 1枚
- リボン 2本
- マジック (イラスト等を書く際に使用します)

時間 15〜20分 / 回

■ 既存の防災教育教材との関連

防災教育プログラム	【防災教育】 必須-1, 5, 6, 7, 8, 9
自然災害に関する授業	【小学校高学年】 P1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 【中学校高学年】 P4 災害を乗り越える 【中学校】 P3 災害への備え, P5 避難の準備(事前)の役割 等

説明

語り部は、これまで地震・洪水・土砂災害・森林火災、多くの自然災害が被災してきて、自然災害の被害を知り、災害に備える意識を高めること、自然災害の被害を知り、災害に備える意識を高めること、自然災害の被害を知り、災害に備える意識を高めること。

語り部から体験談を聞く

実施時の留意点・ポイント

語り部は、これまで地震・洪水・土砂災害・森林火災、多くの自然災害が被災してきて、自然災害の被害を知り、災害に備える意識を高めること、自然災害の被害を知り、災害に備える意識を高めること、自然災害の被害を知り、災害に備える意識を高めること。

時間 10〜45分

■ 既存の防災教育教材との関連

防災教育プログラム	【防災教育】 必須-2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9
自然災害に関する授業	【小学校高学年】 P1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 【中学校高学年】 P4 災害を乗り越える

説明

防災マップづくりは、災害時の避難や救助に役立つ。また、災害時の避難や救助に役立つ。また、災害時の避難や救助に役立つ。また、災害時の避難や救助に役立つ。

防災マップづくり ぼうさい探検隊

実施時の留意点・ポイント

防災マップづくりは、災害時の避難や救助に役立つ。また、災害時の避難や救助に役立つ。また、災害時の避難や救助に役立つ。また、災害時の避難や救助に役立つ。

時間 4〜6時間 / 回

■ 既存の防災教育教材との関連

防災教育プログラム	【防災教育】 必須-2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9
自然災害に関する授業	【高学年】 P2 ぼうさい探検隊 【中学校】 P2, 3 ぼうさい探検隊, ぼうさい探検隊, P4 災害を乗り越える, P5 避難の準備(事前)の役割 等